

## KIP のみなさんが災害制御研究センターを訪問しました(2011/11/24)

11月24日(木)、KIP (Knowledge Investment Programs) のみなさんが当センターを訪問しました。KIPとは、全国から大学・出身地・祖国・世代の異なる学生が集まり、「違う立場」を理解する力を育み、自分と異なるバックグラウンドの人に自分の意見を上手に伝える力を育む場を設け、魅力ある「日本を知る日本人」としての国際人を育成しようとするプログラムです。KIPでは、公募により選ばれた東北の10名の学生と、KIPのメンバーの有志学生たちが来春に訪米し、イエール大学、ボストン大学、ジョージタウン大学、ジョージワシントン大学、スタンフォード大学等の学生と「東日本大震災」に関する討論を行う「日米震災復興市民対話」というプログラムを実施しています。今回は、討論の事前勉強として、本学の災害制御研究センターを訪問されました。KIP 理事長のパッカード啓子氏のほか、プログラム参加学生の東京大学・玉川絵里さん、東京外国語大学・曲晏誼さん、宮城学院女子大学大学院・栗原綾子さんの計4人が訪れ、当センターの佐藤翔輔助教が対応しました。今回の訪問では、佐藤助教から、「東北大学における災害・防災・減災研究」というタイトルで、本学における災害研究の組織体系や、防災科学研究拠点での東日本大震災に関するこれまでの調査・研究の一部について紹介がなされました。レクチャー中も活発な質問がなされ、参加者の本プログラムに対する意識・意欲の高さが見受けられました。このような訪問をベースとして、参加者による独自の研究を進め、その成果を来春の訪米で報告される予定です。

